

## 北海道軌道施設工業(株)等のJR北海道グループにおける 不適切な業務処理等に関する調査結果他について（概要）

平成26年3月31日  
北海道旅客鉄道株式会社

本年1月より複数の媒体で報道された北海道軌道施設工業(株)に関わる疑義について、事実関係の確認を行うとともに、グループ全社(28社)を対象に、不適切な業務処理やコンプライアンス違反が発生していないか調査・確認しました。

本調査結果で判明した不適切事案に対しては以下に述べるとおり、関係者に対する厳正な対処を行うとともに、再発防止とコンプライアンス徹底に向けた取り組みを、グループ全体で行います。

なお、当社から軌道関係グループ会社への工事発注の適切性について、外部コンサルタントの協力を得て検証を行いました。

引き続き、軌道工事の工事発注手続や積算方法等の検討の深度化を図って参ります。

1. 北海道軌道施設工業(株)で発生した不適切事象
2. 札幌工業(株)で発生した不適切事象
3. グループ会社全社に対して実施した、不適切な業務処理やコンプライアンス違反の事案に関する調査の結果

- (1) 外注業務に係る多段階のチェック体制の有無、不正な経理案件の有無(5社)
  - 下請契約が結ばれることが多い建設業及び車両整備業の関連会社(5社)に対して、外注業務における支払までの各段階で牽制が機能する仕組みになっているか、各社において再点検しました。
  - また、業務委託費等の発注や支払に係る水増しやキックバックなど不正な経理案件の有無について、過去5ヶ年(平成21~25年度)の会計帳簿の突き合わせ等により管理状況を調査しました。
  - 調査の結果、札幌工業(株)に関する上記事案以外に、不適切事象はないことを確認しました。

※調査対象会社名：札幌工業(株)、札幌交通機械(株)、(株)ドウデン、  
北海道ジェイ・アール運輸サポート(株)、(株)北海道ジェイ・アール・ビルト

- (2) 会社の収入に計上すべき金銭等の取扱い状況(28社)
  - グループ全社(28社)に対しても調査を拡大し、業務委託費等の発注や支払に係る水増しやキックバックなど不正な経理案件の有無(上記5社については再掲)のほか、雑収入(自販機手数料、広告収入等)の取扱い、金券等の取扱い等について、過去5ヶ年(平成21~25年度)の会計帳簿の突き合わせ等により管理状況を調査しました。
  - 調査の結果、受領した金券を収入に未計上の会社があった(13社、計約30万円)ため、今年度収入に計上するとともに、今後適切に取り扱うよう指導しました。  
それ以外に不適切事象はないことを確認しました。

- (3) 過去の懲戒処分における不適切な業務案件の有無
  - グループ全社(28社)における過去5ヶ年の懲戒処分事案のうち、上記(1)の不正な経理案件、上記(2)の会社の収入に計上すべき金銭等の不正な取扱い、の不適切な業務を事由とした懲戒事案を調査しました。その結果、既に前述した事案以外について該当する案件はありませんでした。

4. JR北海道グループとしてのコンプライアンス徹底に向けた今後の取り組み  
本調査結果で判明した不適切事案に対し、関係者に対する厳正な対処を行うとともに、再発防止とコンプライアンス徹底に向けた取り組みを、グループ全体で行います。
  - (1) JR北海道グループ企業行動指針に基づき、社員教育を強化するなど、グループ全体のコンプライアンス意識の向上に努めてまいります。不適切な事象等が発生した場合には厳正に対処します。
  - (2) グループ各社が、外注業務における不正防止のため、経理業務フローのチェックを実施します。当社は、各種会議等を通じてグループ会社に適切な指導を行います。
  - (3) 監査法人がグループ会社に対して実施する監査等において、外注業務及び会社収益に計上すべき金銭等の取扱いに対する監査を強化します。

5. JR北海道の軌道工事発注の適切性の検証と今後の取り組み